



千紫万紅

久慈市立長内中学校
校報「千紫万紅」
第 5 号
令和8年7月 24 日発行

1学期が終了しました！！

～明日からは夏休み～

令和8年度1学期が終了しました。おかげ様で、生徒一人ひとりが自分の目標に向かい、確実に成長できた1学期だったと思います。

今日の終業式では、1年生代表の佐々木銀我さん、2年生代表の澤里 李さん、3年生代表の東野加奈さんが1学期の反省と夏休みのめあてを発表してくれました。それぞれ充実した1学期だったことが伝わってくる内容でした。

生徒会代表の岩泉光希さんは、「…運動会で学んだ全力で取り組むことの大切さ、協力が大きなエネルギーになることを、これからの学校生活に生かしていきましょう。…『長中プロジェクト』では、自分たちで声を掛け合い、ルールを守る習慣が根付くように頑張っていましょう…」と、全校生徒に向けてメッセージを伝えました。

校長からは、学校教育目標に掲げる「自律・誠実・協働・復興」の4つを視点にしながら、1学期の成長を評価しました。加えて「…『長中スタンダード』などの日常の当たり前をしっかりやることで認められる人間に成長できる…。長中三大文化の『あいさつ・清掃・合唱』に全校で取り組むことで、さらに誇れる長内中学校に近づける…。」と、2学期に向けての激励を伝えました。

この1学期間、保護者の皆様方、地域の皆様方には、多くのご支援・ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

歌声が物語る、確かな歩み！

～久慈地区中学校合唱交流会に参加～

7月9日(木)に久慈市文化会館(アンバーホール)で行われた「久慈地区中学校合唱交流会」に、本校の特設合唱部が参加しました。

昼休みや放課後の練習を積み重ね、迎えた本番。本校が披露したのは混声3部合唱曲『遙かなる時の彼方へと』でした。ホールに響き渡るその歌声は、これまでの取組の確かさを雄弁に物語っていました。ステージ上で堂々と

歌う特設合唱部の姿を目の当りにし、校長として誇らしい気持ちになりました。

講師の勝部健作 先生(岩手県立大野高校)からの講評では、「始めのアカペラが素敵です。それぞれ、よく歌っている姿に感動しました。ハーモニーもキレイです。素晴らしい曲なので、どんなメッセージ性があるのか、みんなで考えながら、伝えるように歌いましょう」との賛辞と助言をいただきました。

合唱交流会を通して、特設合唱部の生徒たちは大きな自信を得たことと思います。この成果を、ぜひ全校合唱の向上にも活かしてくれることを期待しています。

長内中学校では「心に響く合唱」活動を通して、豊かな人間性を育成して参ります。

【生徒の「振り返りシート」より】

- ・ 他校の演奏を聴いて、人数が少ない学校が多い中、一人一人が自信をもって歌っていていいなと思いました。合唱以外のところで、あいさつ、返事や拍手がどこの学校もすごかったので、真似してみたいです。今日の交流会を通して、ホールは音楽室と違って響くから、ほかのパートを聴き合うことが大切だと思いました。…
- ・ 他の学校は、他のパートやピアノの音を聴きながら、みんなで支え合って合唱している感じがあったので、私も自分のパートだけでなく、他のパートの声も聴きながら合わせて、まとまりのある合唱にしたいなと思いました。



各種大会の結果

岩手県吹奏楽コンクール県北地区大会



○中学生の部 金賞 (県大会出場)

岩手県中学校総合体育大会

【卓球】

○男子個人

三角 1回戦 対 見前南中 3-2 勝利
2回戦 対 T・E・C花巻 0-3 惜敗

【柔道】

○男子団体 ベスト8

1回戦 対 磐井中 3-2 勝利
2回戦 対 水沢南中 2-2 内容差負

○女子団体 優勝 (東北、全国大会出場)

1回戦 対 千厩中 3-0 勝利
2回戦 対 滝沢中 2-1 勝利
準決勝 対 江刺一中 2-0 勝利
決勝 対 福岡中 2-1 代表決定戦勝

○男子個人

1位 廣崎、細工藤
(東北、全国大会出場)

2位 下坪 (東北大会出場)

初戦敗退 櫻庭

○女子個人

2位 竹高 (東北大会出場)

3位 田高良

ベスト8 高森 卯道(里) 四作 卯道(蘭)

【剣道】

○男子団体

対 磐井中 1-1 本数勝ち
対 黒石野中 0-2 惜敗

○女子団体

対 江刺一中 1-2 惜敗
対 一戸中 0-3 惜敗

○男子個人

野崎 1回戦 惜敗

○女子個人

小林 1回戦 惜敗
阿部 1回戦 惜敗

【陸上競技】

○共通男子 200M

坂本 B決勝 5位

○2・3年男子 1500M

大向 決勝進出ならず

○共通男子 3000M

柏木 決勝タイムレースで入賞ならず

【水泳】

○男子 50M 自由形

滝沢 決勝進出ならず

皆川 決勝進出ならず



編集後記

▼新生・長内中学校としてスタートした1学期も、まもなく終了します。振り返れば、生徒総会、運動会、そして日々の学校生活のあらゆる場面で、生徒たちは自分たちで考え、自分たちで決め、自分たちの力で学校を創ろうとしてきました。そこには誰かにやらされるのではなく、「自分たちの学校をより良くしたい」という思いが確かに息づいていました。▼学校の歴史を創るのは、そこで学び、生活する生徒です。統合初年度の1学期、生徒たちは新生・長内中学校の歴史の1ページ目に、自分たちらしい足跡を刻んでくれました。▼2学期にも「文化祭」をはじめ、多くの挑戦が待っています。子どもたちは次にどんな歴史を刻み、どんな「ヤラレター！」を届けてくれるのか。今からとても楽しみです。

【柏崎】

